

公益社団法人砥粒加工学会北陸信越地区部会報告

令和5年度 地区部会大会・第1回研究会を終えて ～ホテル信濃路（長野県長野市）～

1. はじめに

去る3月28日(火)に北陸信越地区部会企画として、令和5年度地区部会大会および第1回研究会が長野県長野市にあるホテル信濃路において開催された。その概要を以下に報告する。

2. 令和5年度 地区部会大会

地区部会大会は、宮島敏郎 庶務幹事（富山県立大学）の進行により、齋藤博 前地区部会長（新潟工業短期大学）の挨拶、畝田道雄 地区部会長（金沢工業大学）の挨拶で開始した。その後、令和5～6年度の運営委員紹介、令和4年度事業報告と決算報告・監査報告が宮島 前会計幹事から、令和5年度事業計画案（運営委員会3回、幹事会3回、研究会3回）が宮島 庶務幹事から、予算案が江面篤志 会計幹事（三条市立大学）から説明され、確認された。また、ABTEC2024に向けて、磯部浩巳 特別幹事（長岡技術科学大学）から説明された。



(a) 齋藤 先生



(b) 畝田 先生

図1 地区部会大会で挨拶される新旧部会長

3. 令和5年度 第1回研究会

地区部会大会に引き続き、第1回研究会が開催された。研究会は、【北陸信越地区「長野県」の大学・高専・公設試による新技術発信】と題して3件の講演が行われた。初めに、信州大学 佐藤運海 氏より「電解酸化水を用いた精密デバイス用金属材料の表面粗化処理」と題して講演が行われた。電解水の生成およびその特性評価、精密デバイス用金属表面の粗化処理、コエリンパー合金の表面に Na_2SO_4 電解酸化水の影響に関する説明があった。次に、長野工業高等専門学校 柳澤憲史 氏より「微細凹凸加工とカーボン材料によるはっ水性・滑水性表面の設計と開発」と題して講演が行われた。バイオミメティクスとはっ水性・滑水性について、微細構造によるはっ水性表面の設計と開発事例、微細構造による滑水性表面の設計と開発事例について説明があった。最後に、長野県工業技術総合センター 江口稜正 氏より「超音波による非接触微粒子操作と研磨スラリー中の異物除去」と題して講演が行われた。まず、超音波による音響放射力として、空中での光学部品の非接触保持と流体内での微粒子の捕足・操作について、その後、ガラス研磨用スラリーでの異物粒子除去への応用の試みに関する説明があった。いずれの講演についても参加者から多くの質問があり、講演者と活発な議論が行われた。

3件の講演後、西野入隆 副地区部会長（セラテックジャパン株式会社）より閉会の挨拶があった。



図2 信州大学 佐藤運海 氏



図3 長野工業高等専門学校 柳澤憲史 氏



図4 長野県工業技術総合センター 江口稜正 氏

4. おわりに

久しぶりの対面開催となり、27名の方に参加いただいた。多くの参加者から、対面から得られる、ディスカッション、発表聴講、交流の良さについての語りがあった。対面開催の再開により、北陸信越地区部会のアットホームな良さを発展させていきたいと改めて感じた会となった。



図5 研究会全体の様子

(文責：宮島敏郎)